

令和4年度入学者
(2022)

岐阜大学大学院教育学研究科 学生募集要項

- ・教職実践開発専攻学校管理職養成コース
- ・第2次募集
- ・岐阜大学の学部3年次を対象とする飛び級による選抜

令和3年11月



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学

岐阜大学大学院教育学研究科

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 TEL (058) 293-2206・2209
教育学研究科ホームページ <http://www.ed.gifu-u.ac.jp/>

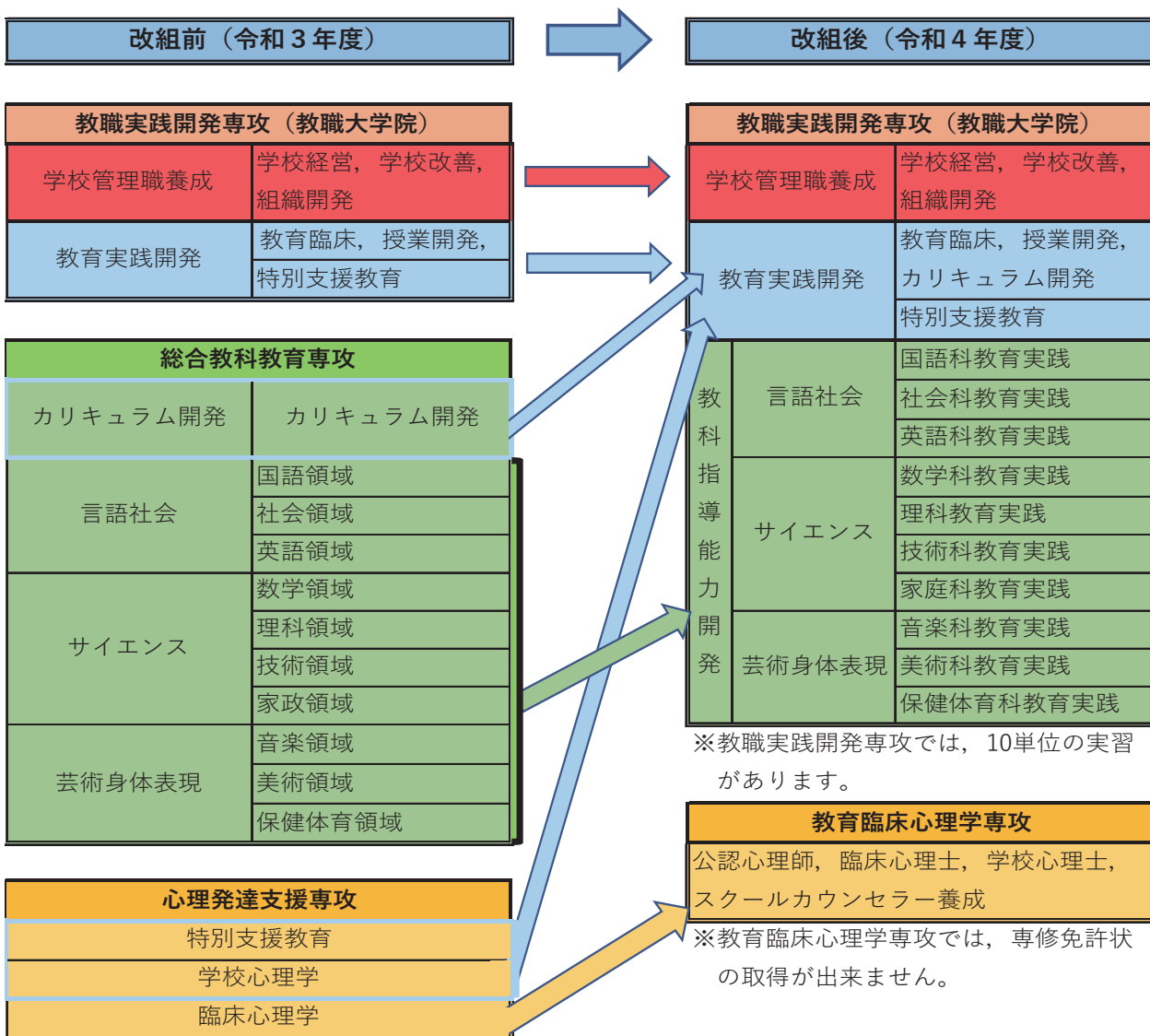
令和4年度 岐阜大学大学院教育学研究科の改組について

岐阜大学大学院教育学研究科では、令和4年度から既存の教育内容を大きく見直し、教育の一層の充実を図る観点から、研究科の改組を以下のとおり計画しています。

令和4年度入学者の募集は、現在開設している各専攻で実施しますが、計画している改組が確定した場合、令和4年度入学者は改組後の新研究科に入学することになります。

新研究科の各専攻への振り分けは、出願時に提出された「令和4年度岐阜大学大学院教育学研究科入学志願票」及び「意思表示確認書」により決定します。

なお、この計画は、文部科学省・学校法人審議会の審査結果によって確定するものであり、変更することがありますのであらかじめご承知おきください。



計画している改組が確定した場合、心理発達支援専攻においては、特別支援教育の学生は教職実践開発専攻 教育実践開発コース特別支援教育へ、学校心理学の学生は教職実践開発専攻 教育実践開発コース教育臨床へ振り分けられます。

(改組後) 令和4年度 教職実践開発専攻について

教職実践開発専攻には、教科指導能力開発コース、教育実践開発コース、学校管理職養成コースの3つのコースを設置します。

本専攻は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭の高度専門職養成を行います。

(教科の深い勉強もできます)

***基礎実習、教育臨床実習、授業開発臨床実習等の実習科目(計10単位)があります。**

【教科指導能力開発コース】

人材養成像

教科等の指導内容に関する高度な知識を身につけ、実践で活かすことができる教員

【教育実践開発コース】

人材養成像

- ・学習指導の構想・実践・評価改善に関する高度な知識を身につけ、実践で活かすことができる教員
- ・学習者の健康、障がいの状態、発達の段階、興味・関心等の観点を踏まえた実践的な指導・援助に関する高度な知識を身につけた教員

【学校管理職養成コース】

人材養成像

学校や地域の教育課題を解決するために、学校ビジョンを構想したり、学校経営計画を作成したりすることができる学校管理や組織的な運営を行う教員

取得可能な教員免許状

本専攻において取得できる教員免許状の種類は以下のとおりです。ただし、専修免許状の資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状(中学校及び高等学校教諭専修免許状については、その教科)の一種免許状を有することが必要です。

■幼稚園教諭専修免許状

■小学校教諭専修免許状

■中学校教諭専修免許状

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教

■高等学校教諭専修免許状

国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、農業、工業、商業、水産、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教、情報、福祉

■特別支援学校教諭専修免許状

知的障害者、肢体不自由者、病弱者

■養護教諭専修免許状

■栄養教諭専修免許状

(改組後) 令和4年度 教育臨床心理学専攻について

本専攻は、公認心理師・臨床心理士・学校心理士・スクールカウンセラー養成に特化した専攻を設置します。

学部と研究科を通した一貫指導における教育効果，さらに教職実践開発専攻との有機的かつ多様なつながりによる教育・指導体制の活性化をめざします。

人材養成像

- ・不登校，いじめ問題をはじめとした複雑化する学校現場の問題に対して，自らが発見した問題点を客観的に評価できる心理専門職であり，その評価をもとに被援助者や組織に対して専門的知識と技能を用いて適切に支援できる人物
- ・教員をはじめとした多職種に助言することのできるコミュニケーション力をもった専門家

***教育臨床心理学専攻では，専修免許状の取得はできません。**

岐阜大学大学院教育学研究科 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

【教育目標】

本研究科は、社会の多様な要請に応えられる高度な専門的知識と教育実践能力を兼ね備え、地域の教育を中心となって担っていく教育専門職および教育関係者を養成・再教育していきます。

【求める学生像】

本研究科は、学校教育に深い関心があり、学部等で培った基礎的な教育に関する理論と実践能力を基礎とし、学術理論と教育との関係について探究しようとする人、ならびに、教科の背景となる専門領域の学問を深めることに意欲をもつ人を求めます。

さらに、教職大学院では、学校現場の実践や開発に即戦力として貢献する高度な教育専門職を養成します。学校管理職養成コースは、自律的および協働的な学校運営を推進できるマネジメント力を身につけたい現職教員を求めます。また、教育実践開発コースは、授業開発、教育臨床、特別支援教育に関する高度な課題解決力を身につけたい現職教員や、学校で活躍できる応用力を求める学部生を求めます。

目 次

	ページ
1 入学者選抜関係日程	1
2 専攻別募集人員	2
3 出願資格	3
4 出願手続	4
5 入学者選抜方法（試験日時及び場所等）	7
6 配点	15
7 入学者選抜試験の合否判定における欠格基準	16
8 合格者発表	16
9 入学手続	16
10 入学料及び授業料	16
11 入試結果の情報開示の案内	16
12 個人情報の取り扱いについて	17
13 障害等のある者の出願に当たっての事前相談	17
14 夜間・遠隔教育における教育方法の特例措置について	18
15 長期履修学生制度について	19
16 修業年限短縮の特例について	19
17 大学院生の学部開講科目の受講について	19
18 入試統計	19
19 大規模災害により被災した岐阜大学入学志願者の検定料の免除について	20
20 その他（本学への交通機関等）	20

添付書類 出願書類一式（綴じ込み）

1 入学者選抜関係日程

出 願 期 間	令和4年1月6日(木)～11日(火) 持参の場合：午前9時から午後4時30分まで受付 (ただし土日祝日は除く。) 郵送の場合：1月11日(火)午後4時30分までに 必着
試 験 日	令和4年2月5日(土) 会場：岐阜大学教育学部
合 格 者 発 表	令和4年3月1日(火) 正午
入 学 手 続	令和4年3月15日(火)

(備考)

本要項の「3 出願資格」の(3)に該当する者における、個別の入学者選抜関係日程は以下のとおりである。

出 願 期 間	令和3年12月3日(金)まで 持参の場合：午前9時から午後4時30分まで受付 (ただし土日祝日は除く。) 郵送の場合：12月3日(金)午後4時30分までに 必着
書類審査の結果通知	令和3年12月10日(金)までに結果及び課題を通知
研究小論文等の 課題提出期限	令和3年12月16日(木) 持参の場合：午前9時から午後4時30分まで受付 (ただし土日祝日は除く。) 郵送の場合：12月16日(木)午後4時30分までに 必着
資格審査の結果通知	令和3年12月23日(木)までに合否を通知

本要項の「3 出願資格」の(4)及び(11)に該当する者における、個別の入学者選抜関係日程は以下のとおりである。

出 願 期 間	令和3年12月7日(火)・8日(水) 持参の場合：午前9時から午後4時30分まで受付 郵送の場合：12月8日(水)午後4時30分までに 必着
資格審査の結果通知	令和3年12月23日(木)までに合否を通知

障害等のある者の出願に当たっての事前相談期限

相 談 の 期 限	令和3年12月8日(水)まで
-----------	----------------

2 専攻別募集人員

(1) A入試（一般選抜）、B入試（現職教員等選抜）及びC入試（派遣・推薦教員選抜）

専攻	コース	分野	募集人数
教職実践開発	学校管理職養成	学校経営, 学校改善, 組織開発	約15名
	教育実践開発	授業開発, 教育臨床	若干名
心理発達支援	臨床心理学	臨床心理学	
	特別支援教育	障害児心理, 障害児病理, 障害児教育	若干名
総合教科教育	言語社会	国語領域 (国語科教育, 国語学, 国文学, 漢文学)	
		社会領域 (社会科教育, 歴史学, 地理学, 法学, 政治学, 経済学, 哲学)	
		英語領域 (英語科教育, 英語学, 英米文学)	
	サイエンス	数学領域 (数学科教育, 代数学, 幾何学, 解析学)	
		理科領域 (理科教育, 物理学, 化学, 生物学, 地学)	
		技術領域 (技術科教育, 木材加工学, 金属加工学, 電気電子工学, 情報工学)	
	芸術身体表現	家政領域 (家庭科教育, 被服学, 食物学, 住居学, 家庭経営学, 保育学)	
		音楽領域 (音楽科教育学, 音楽学, 作曲, 作曲理論, 器楽A (ピアノ), 器楽B (管楽器), 声楽)	若干名
		美術領域 (美術科教育, 絵画, 彫刻, デザイン, 工芸, 美術理論・美術史)	
		保健体育領域 (保健体育科教育, 体育学, 運動学, 学校保健)	若干名
カリキュラム開発	カリキュラム開発, 教育システム開発, 学習情報開発		

(注) 1 他専攻との併願はできません。

2 教職実践開発専攻学校管理職養成コースは、B入試（現職教員等選抜）及びC入試（派遣・推薦教員選抜）のみを実施（7ページ参照）します。出願資格（3ページ参照）に該当するかどうか必ず確認してください。また、募集人員には、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の趣旨等に基づき、岐阜県教育委員会・岐阜県内市町村教育委員会及び岐阜大学教育学部附属小中学校長から推薦を受けた現職教員の受け入れ枠を含みます。

(2) 岐阜大学の学部3年次を対象とする飛び級による選抜

専攻	コース	分野	募集人員
心理発達支援	臨床心理学	臨床心理学	
	特別支援教育	障害児心理, 障害児病理, 障害児教育	
総合教科教育	言語社会	国語領域 (国語科教育, 国語学, 国文学, 漢文学)	若干名
		社会領域 (社会科教育, 歴史学, 地理学, 法学, 政治学, 経済学, 哲学)	
		英語領域 (英語科教育, 英語学, 英米文学)	
	サイエンス	数学領域 (数学科教育, 代数学, 幾何学, 解析学)	
		理科領域 (理科教育, 物理学, 化学, 生物学, 地学)	
		技術領域 (技術科教育, 木材加工学, 金属加工学, 電気電子工学, 情報工学)	
芸術身体表現	家政領域 (家庭科教育, 被服学, 食物学, 住居学, 家庭経営学, 保育学)		
	音楽領域 (音楽科教育, 音楽学, 作曲, 作曲理論, 器楽A (ピアノ), 器楽B (管楽器), 声楽)		
	美術領域 (美術科教育, 絵画, 彫刻, デザイン, 工芸, 美術理論・美術史)		
	保健体育領域 (保健体育科教育, 体育学, 運動学, 学校保健)		
カリキュラム開発	カリキュラム開発, 教育システム開発, 学習情報開発		

(3) 夜間・遠隔教育について

夜間・遠隔授業を志望する者は、受講を希望するサテライト教室等名又はインターネット接続された機器等を備えた自宅等及び連絡先のE-mailアドレスを志願票に明記すること。

「インターネット接続の自宅等」での受講を希望する者は、インターネット接続された機器等が遠隔授業の履修に十分な性能を備えていることが条件であり、履修に障害がある場合は学生の責任で十分な性能の機器等を備えなければならない。

(4) 心理発達支援専攻「臨床心理学コース」について

- ① このコースの募集は、将来「公認心理師」/「臨床心理士」資格を得ることを目的として、それぞれにおいて必要な科目を修得し、大学院を修了することを希望する者を対象とする。
- ② 本研究科は、心理発達支援専攻「臨床心理学コース」を修了した者が、「臨床心理士」の受験資格を得ることができるよう、財団法人日本臨床心理士資格認定協会により、第1種指定大学院として指定を受けている。
- ③ 「臨床心理学コース」の授業科目は、昼間のみ開講であり、岐阜大学教室においてのみ履修が可能である。
また、在学期間中は、学内外における実習活動が平日に義務付けられる。
- ④ 「公認心理師」資格を得るためには、大学学部卒業時において公認心理師となるために必要な科目を修得していなければならない。
- ⑤ 他専攻又は他コース（領域）からの転コースは認めていない。

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

なお、教職実践開発専攻、心理発達支援専攻（特別支援教育コース）及び総合教科教育専攻の出願者は、教員免許状を取得（見込みを含む）している者又は本研究科が教員免許状を取得している者と同等とみなす者を前提条件とし、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- (3) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を特に優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者（注1参照）
- (4) 学校教育法第102条第2項の規定により本学大学院又は他大学の大学院に入学した者で、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（注2参照）
- (5) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (7) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和4年3月までに修了見込みの者
- (8) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和4年3月までに修了見込みの者
- (9) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (10) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

(11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年3月31日までに22歳以上に達する者

(これによる入学資格審査の出願手続は、以下のとおりである。)

① 資格審査のための出願期間

令和3年12月7日(火)・8日(水)

提出書類持参の場合の受付は、午前9時から午後4時30分までとする。

郵送の場合も12月8日(水)午後4時30分までに必着のこと。

〔書類提出は、「出願書類提出先」(6ページ参照)に同じ。〕

② 提出書類

ア 履歴書(本要項の「志願票」裏面並びに表面に記入のこと)

イ 最終学校の成績証明書及び卒業証明書(3ヶ月以内に発行されたもの)

※ 外国において発行される証明書等には、日本語訳を添付すること。また公証人による公証書が必要となる場合があるので、事前に出願書類提出先へ確認すること。

ウ 研究内容実績(官公庁及び企業等の所属長が証明したもの)

エ 大学院入学希望の動機・目的を記した書類

オ 大学院で希望する学習、研究分野及びテーマを記した書類

カ 大学卒業程度以上の学力に相当すると、自ら評価した理由書

※ 具体的な職務内容及び職務中に上げた業績、受講した講習・通信教育並びに取得した資格・免許等を述べる中で、大学卒業程度以上の学力に相当していると考えられる理由を示すこと。

任意様式(A4サイズ)

(それぞれ別葉で作成すること。)

③ 審査方法等

提出書類に基づき、書類審査を行う。

④ 資格審査の結果は、令和3年12月23日(木)までに学務係から出願者へ通知する。

(注1) (3)により出願しようとする場合は、次の①・②の条件を満たす者で、事前の資格審査を行う。

① 修得単位

大学第3年次に在学の学生で、当該年度3月末において、第3年次までに修得する必要がある必修専門科目及び教養科目の全部、並びにそれらを含めて卒業要件単位数の4/5以上の単位を修得見込みであること。

② 学業成績

出願時における修得単位に占めるA(優)の成績の割合が4/5以上である者

[資格審査のための出願手続]

入学資格審査申請書(本学所定の様式)、在学証明書、成績証明書及び上記①の条件が確認できる履修便覧等の当該ページ(写し)を、令和3年12月3日(金)までに、教育学部学務係へ提出すること。これらの書類により、上記①・②の条件を満たしているか確認を行う。

確認した結果は、令和3年12月10日(金)までに、学務係から出願者へ通知する。その際、条件を満たすと確認された者にのみ、研究小論文等の課題を通知するので、令和3年12月16日(木)までに学務係へ課題を提出すること。

資格審査の結果は、令和3年12月23日(木)までに、教育学部学務係から出願者へ通知する。

(注2) (4)により出願しようとする場合は事前審査等を行うので、(11)に準じた手続を行うこと。

4 出願手続

(1) 出願期間

令和4年1月6日(木)～1月11日(火)

持参の場合の受付は、午前9時から午後4時30分までとする。(ただし土日祝日は除く。)

郵送の場合は、1月11日(火)午後4時30分までに必着のこと。

(2) 出願書類

出 願 書 類	提出該当者	注 意 事 項
入 学 志 願 票 受 験 票 写 真 票 試 験 場 座 席 番 号 票	全 員	本学所定の用紙による。
履 歴 書		本学所定の用紙による。(入学志願票の裏面)
研 究 計 画 書		本学所定の用紙による。
意 思 表 示 確 認 書		本学所定の用紙による。
成 績 証 明 書		卒業(見込)した大学の学長等が作成したもの。なお、大学院を修了(見込)している場合は併せて提出すること。
卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	全 員 (出 願 資 格 (2) 該 当 者 を 除 く)	卒業(見込)した大学の学長等が作成したもの。なお、大学院を修了(見込)している場合は併せて提出すること。
学位授与証明書又は 学位授与見込証明書	出 願 資 格 (2) 該 当 者 の み	大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。
教育職員免許状 授 与 証 明 書	免許状既取得者 及 び 出 願 資 格 (10) 該 当 者	免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの。 ※免許状の原本及びその写しは受けません。
教育職員免許状取得 見 込 証 明 書	免許状取得予定者	在籍する大学の学長または学部長等が作成したもの。 ※令和4年3月末取得予定者はこちらを提出すること。
教育実践論文・ 研究業績等報告書	教 育 関 係 経 験 者 の み (B 入 試 ・ C 入 試 志 願 者)	「B入試(現職教員等選抜)・C入試(派遣・推薦教員選抜)」を希望する者は、実践論文・記録等のうち主要なもの5点以内の原本又は写しを添えて、本学所定の用紙にその概要を記入して提出すること(14ページ参照)。
受 験 承 諾 書	大 学 院 在 学 者 及 び 現 職 教 員 等	本学所定の用紙による。他の大学院に在学中の者は、学長又は研究科長が作成したもの。現に官公庁、学校、会社等に在職している者で、 <u>現職のまま入学を希望する者は、所属長が作成したもの。</u>
推 薦 書	岐阜県教育委員会・ 岐阜県内市町村教育 委員会及び附属 小中学校からの派 遣・推薦教員のみ (C入試志願者)	「C入試(派遣・推薦教員選抜)」志願者は、岐阜県教育委員会、岐阜県内市町村教育委員会又は岐阜大学教育学部附属小中学校長が作成した推薦書を提出すること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">任意様式(A4サイズ)</div>
楽 曲 申 告 書	音 楽 領 域 の 当 該 志 願 者	選択科目(器楽A、器楽B、声楽)の選択者(C入試志願者除く)のみ、本学所定の用紙により提出すること(選択科目によっては楽譜の提出もあるので注意すること)。
作品(楽譜又はCDに 録音した音源 3点以 内)	音 楽 領 域 の 作 曲 志 願 者	選択科目(作曲)の選択者のみ、楽譜は白黒でコピーの上製本すること。楽譜・音源とも無記名とする。
語学試験成績証明書 (原 本)	英 語 の 試 験 免 除 希 望 者 (A入試のみ) (英語領域志願 者及び外国人留 学生除く)	平成31年4月以降に受験した、次のいずれかの成績証明書(原本)を提出すること。 ①実用英語技能検定(英検)準1級以上 ②TOEFL® - iBT 76点以上(My Best scoresは活用しません) ③TOEIC® Listening & Reading Test(公開テスト)700点以上 ④IELTS 6.0以上 提出された原本は原則として返却しないため、返却を希望する場合は、証明書のサイズに見合う返信用封筒に送料分の郵便切手を貼り、受取り先の住所・宛名を記入して出願書類に同封すること。(試験終了後に返送します。)

検 定 料		30,000円
振 込 証 明 書	全 員	<p>本学所定の「入学検定料払込用紙」に住所、氏名等必要事項を記入の上、検定料を最寄りの銀行で振込み、振込み後は「振込証明書」を入学志願票に貼り、出願書類として提出すること。(振込手数料はご負担願います)</p> <p>なお、この検定料の振込みは、「電信扱」となっているので、出願期間最終日での振込みは午前中までに行うこと。(午後の取扱いができない銀行があるので注意すること)</p> <p>また、「岐阜大学検定料振込金(兼手数料)受領書」は本人が大切に保管しておくこと。</p>
住 民 票 記 載 事 項 等 証 明 書	外 国 人	現に日本国に居住している外国人は、居住している市区町村長の発行するもので、在留資格が明示されているもの。その他の者は、本人パスポートの記載事項があるすべてのページの写を提出してください。
日 本 語 能 力 試 験 1 級 の 合 格 証 明 書	外 国 人	日本国際教育支援協会が発行したもの。
あ て 名 シ ー ル		本学所定の用紙による。
返 信 用 封 筒	全 員	本学所定の封筒に郵便切手 664 円分を貼り、受信場所、本人の氏名を記入すること。

備 考

- 1 証明書は、3ヶ月以内に発行されたものとする(語学試験成績証明書を除く)。なお、証明書類の写しは受け付けません。また、証明書記載の氏名が旧姓の場合は、戸籍抄本を添付すること。
- 2 提出書類中、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を必ず添付すること(語学試験成績証明書を除く)。
※外国において発行される成績証明書、卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書等については、公証人による公証書が必要となりますので、事前に出願書類提出先へ確認すること。
- 3 受理した出願書類等は一切返還しない。ただし、実践論文・記録等の原本については返却する。語学試験成績証明書は、返却希望者で返信用封筒の提出があった者のみ返却する。
- 4 検定料返還に関しての留意事項
 - ①次の場合を除き、一旦領収した検定料は原則として返還しません。
 - a 出願書類が受理されなかった場合
 - b 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
 - c 検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合
 - ②返還請求の方法
次の a～f を明記した検定料払戻請求書を作成し、「岐阜大学検定料振込金(兼手数料)受領書」を添付して、岐阜大学教育学部学務係(〒501-1193 岐阜市柳戸1番1)まで郵送してください。(封筒には「検定料払戻請求書 在中」と朱書きしてください)。
なお、返還請求は令和4年1月6日(木)から1月19日(水)までをお願いします。
 - a 返還請求の理由
 - b 志願者氏名(フリガナ)、押印
 - c 現住所
 - d 連絡先電話番号
 - e 志望専攻名等
 - f 検定料を受け取る銀行名、支店名、預貯金種別、口座番号、口座名義(フリガナ)
- 5 国費外国人留学生である者は、事前に出願書類提出先へ申し出ること。

(3) 出願書類提出先

出願しようとする者は、出願書類を一括で取り揃え、本学所定の封筒に入れ、下記に提出すること。郵送の場合は、簡易書留・速達とすること。

【〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学教育学部学務係 TEL 058-293-2206・2209】

5 入学者選抜方法

教職実践開発専攻学校管理職養成コース，教職実践開発専攻教育実践開発コース（第2次募集）

入試区分	選抜方法（詳細については本項を確認してください）
(1) A入試（一般選抜） 教育実践開発コースのみ	筆記試験等，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。
(2) B入試（現職教員等選抜）*	教育実践論文・記録，その他教育実践がはかり得る諸書類，筆記試験等，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。
(3) C入試（派遣・推薦教員選抜）※	教育実践論文・記録，その他教育実践がはかり得る諸書類，小論文，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。

※（3）C入試（派遣・推薦教員選抜）は，大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の趣旨等に基づく岐阜県教育委員会・岐阜県内市町村教育委員会及び岐阜大学教育学部附属小中学校から派遣・推薦される現職教員を対象とする。

*教職実践開発専攻における，（2）B入試の「現職教員等」について

派遣・推薦教員を除き，現職教員及び教育関係諸機関に常勤職員として在籍している者で，入学年度の前年度の3月末日現在において常勤職員として3年以上の経験を有する者とする。

なお，経験年月数の算出に当たっては，次のとおりとする。

- ・経験年月数は入学年度の4月1日現在で算出し，それ以前に退職する予定の時は退職予定日とする。月数が1か月未満の場合は，1か月に切り上げて算出する。
- ・休職期間は経験年月数に算入しない。
- ・「臨時的任用職員」や「期限付常勤講師」等は上記の常勤職員に含まない。

心理発達支援専攻（第2次募集），総合教科教育専攻（第2次募集）及び飛び級による選抜

入試区分	選抜方法（詳細については本項を確認してください）
(1) A入試（一般選抜）	筆記試験等，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。
(2) B入試（現職教員等選抜）	教育実践論文・記録，その他教育実践がはかり得る諸書類，筆記試験等，口述試験及び成績証明書の結果を総合して判定。

（備考）

- 1 「教育関係経験者（C入試対象者を除く）」は，（1）「A入試」又は（2）「B入試（現職教員等選抜）」のいずれかを選択し，受験するものとする。なお，入試区分は事前に出願書類の入学志願票で申告すること。
- 2 岐阜大学の学部3年次を対象とする飛び級による選抜で出願する者は，A入試で受験するものとする。

A入試における英語の試験免除の措置

次に掲げるいずれかの語学試験の基準（点数）を満たしている者は，成績証明書（原本）の提出により「英語」の試験を免除し，出願する専攻・コース・領域における英語（◇）は満点を取得したものとする。

なお，外国人留学生の場合は，英語については日本語の試験を行うため対象外とする。

また，総合教科教育専攻言語社会コース英語領域は，独自試験を行うことで次に掲げる基準以上の英語力を測るため，試験免除の措置の対象外とする。

語学試験	基準(点数)	出願する年度の2年前の年度の4月1日以降に受験したものを有効とする。
① 実用英語技能検定（英検）	準1級以上	
② TOEFL® iBT（My Best scoresは活用しません）	76点以上	
③ TOEIC® Listening & Reading Test（公開テスト）	700点以上	
④ IELTS	6.0以上	

◇試験科目「英語」について

教職実践開発専攻，心理発達支援専攻，総合教科教育専攻カリキュラム開発コース：必須科目の英語
総合教科教育専攻言語社会コース（英語領域除く），サイエンスコース，芸術身体表現コース：選択科目の基礎科目内の英語問題

(1) 試験日時及び場所等

試験日 令和4年2月5日(土)
 試験場 岐阜大学教育学部
 試験日程

① 通常の試験

専攻	コース	【A入試】筆記試験		【B入試】筆記試験		【C入試】筆記試験		口述試験
教職実践開発	学校管理職養成			必須科目(専門)	9:00~10:00	—	—	13:30~
	選択科目			10:15~11:15	—	—		
教育実践開発	教育実践開発	必須科目(専門)	9:00~10:00	必須科目(専門)	9:00~10:00	—	—	13:30~
		選択科目	10:15~11:15	選択科目	10:15~11:15	—	—	
心理発達支援	臨床心理学	必須科目(英語)	9:00~10:00					13:30~
		必須科目(専門)	10:15~11:15					
	特別支援教育	必須科目(専門)	9:00~10:00	必須科目(専門)	9:00~10:00			
		選択科目	10:15~11:15	選択科目	10:15~11:15			
総合教科教育	言語社会	必須科目(小論文)	9:00~10:00					13:30~
		選択科目(英語問題含む)	10:15~12:30					
	サイエンス	必須科目(小論文)	9:00~10:00					
		選択科目(英語問題含む)	10:15~12:30					
	芸術身体表現	必須科目(小論文)	9:00~10:00	必須科目(小論文)	9:00~10:00			
		選択科目(英語問題含む)	10:15~12:30	選択科目	10:15~12:00 音楽領域 10:15~12:30			
	カリキュラム開発	必須科目(小論文・英語)	9:00~10:30	必須科目(小論文)	9:00~10:00			
		選択科目	10:45~12:30	選択科目	10:45~12:30			

② 英語免除措置者試験【A入試のみ対象】

専攻	コース	筆記試験		口述試験
教職実践開発	教育実践開発	必須科目(専門)	9:00~10:00	13:30~
		選択科目	10:15~11:15	
心理発達支援	臨床心理学 特別支援教育	必須科目(専門)	10:15~11:15	13:30~
		必須科目(専門)	9:00~10:00	
総合教科教育	言語社会	必須科目(小論文)	9:00~10:00	13:30~
		選択科目	10:15~12:00	
	サイエンス	必須科目(小論文)	9:00~10:00	
		選択科目	10:15~12:00	
	芸術身体表現	必須科目(小論文)	9:00~10:00	
		選択科目	10:15~12:00 音楽領域 10:15~12:30	
	カリキュラム開発	必須科目(小論文)	9:00~10:00	
		選択科目	10:45~12:30	

(注) 総合教科教育専攻言語社会コース英語領域は、独自試験を実施するため、英語試験免除は行わない。

受験上の注意(共通)

- 1 試験室は、当日教育学部玄関の掲示で確認すること。
- 2 受験者は、試験開始10分前までに入室、着席すること。
- 3 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻30分以内に限り、受験を認める。
- 4 試験時間中は、必ず受験票を机の上に置くこと。

(2) 学力試験科目

A 入試（一般選抜・岐阜大学の学部3年次を対象とする飛び級用）

教職実践開発専攻は、岐阜大学の学部3年次を対象とする飛び級による選抜は実施しない。教職実践開発専攻学校管理職養成コースは、A入試を実施しない。学校管理職養成コースは、12ページからのB入試及びC入試を確認すること。

なお、英語試験免除措置を受けた者は「英語」の試験を免除する（言語社会コース英語領域をのぞく）。

専攻	コース	試験科目		口述試験
		筆記試験（音楽領域のみ実技試験を含む。）		
教職実践開発	教育実践開発	必須科目	教育学，英語（辞書（電子辞書は不可）持込み可）	
		選択科目	授業開発，教育臨床のうちから1科目選択	
心理発達支援	臨床心理学	必須科目	臨床心理学（心理学一般を含む），英語（辞書（電子辞書は不可）持込み可）	
	特別支援教育	必須科目	障害児教育概論，英語（辞書（電子辞書は不可）持込み可）	
		選択科目	障害児教育学，障害児心理学，障害児病理学のうちから1科目選択	
総合教科教育	言語社会	必須科目	小論文	
		選択科目	国語領域問題，社会領域問題，英語領域問題のうちから1科目を選択	
			国語領域問題 基礎科目：国語科教育（英語問題を含む） （辞書（電子辞書は不可）持込み可。ただし，外国人留学生の「日本語」受験者は，辞書持込み不可） 専門科目：国語科教育学，国語学，国文学，漢文学のうちから1科目選択 社会領域問題 基礎科目：社会科教育（英語問題を含む） （辞書（電子辞書は不可）持込み可） 専門科目：社会科教育学，歴史学，地理学，法律学，政治学，経済学，哲学のうちから1科目選択 英語領域問題 基礎科目：英語科教育（英語問題を含む） 専門科目：英語教育学，英語学，英米文学のうちから1科目選択 （いずれも辞書持込み不可）	
サイエンス	必須科目	小論文		
	選択科目	数学領域問題，理科領域問題，技術領域問題，家政領域問題のうちから1科目を選択		
		数学領域問題 基礎科目：数学及び数学教育〔詳細は注4〕（英語問題を含む） （辞書（電子辞書は不可）持込み可） 専門科目：数学科教育学，代数学，幾何学，解析学（応用数学，統計学を含む）のうちから1科目選択 理科領域問題 基礎科目：理科教育（英語問題を含む） （辞書（電子辞書は不可）持込み可） 専門科目：理科教育学，物理学，化学，生物学，地学のうちから1科目選択		

志望理由，研究計画，専門分野における経験，知識，適性などについて問う。

	サイエンス	<p>技術領域問題</p> <p>基礎科目：技術・工業に関する問題（英語問題を含む） （辞書（電子辞書は不可）持込み可）</p> <p>専門科目：技術科教育学，木材加工学，金属加工学，電気電子工学，情報工学のうちから1科目選択</p> <p>家政領域問題</p> <p>基礎科目：家庭科教育（英語問題を含む） （辞書（電子辞書は不可）持込み可）</p> <p>専門科目：家庭科教育学，被服学，食物学，住居学，家庭経営学，保育学のうちから1科目選択</p>	※美術領域は注5参照
	芸術身体表現	<p>必須科目 小論文</p> <p>選択科目 音楽領域問題，美術領域問題，保健体育領域問題のうちから1科目を選択</p> <p>音楽領域問題</p> <p>基礎科目：音楽科教育（英語問題を含む） （辞書（電子辞書は不可）持込み可）</p> <p>専門科目：音楽科教育学，音楽学，作曲，作曲理論，器楽A（ピアノ），器楽B（管楽器），声楽のうちから1科目選択〔詳細は別表1〕</p> <p>美術領域問題</p> <p>基礎科目：図工・美術科教育（英語問題を含む） （辞書（電子辞書は不可）持込み可）</p> <p>専門科目：美術科教育学，絵画，彫刻，デザイン，工芸，美術理論及び美術史のうちから1科目選択</p> <p>保健体育領域問題</p> <p>基礎科目：保健体育科教育（英語問題を含む） （辞書（電子辞書は不可）持込み可）</p> <p>専門科目：体育学，運動学，学校保健のうちから1科目選択</p>	
	カリキュラム開発	<p>必須科目 小論文，英語（辞書（電子辞書は不可）持込み可）</p> <p>選択科目 カリキュラム開発基礎（広くカリキュラム開発に関わる基礎的知識を確認する問題）</p>	

- 注) 1 選択科目については，志願者が出願書類の入学願書票であらかじめ申告するものとする。
- 2 外国人留学生の場合，専攻毎に実施される必須科目または選択科目の英語については，日本語の試験を行うこととする。
- その際，辞書（電子辞書は不可）の持込みを可とする。
- ただし，国語領域の受験者は辞書の持込みを不可とする。
- 3 外国人留学生の場合，日本語の試験以外の筆記試験科目でも辞書の持込みを可とする。
- ただし，試験当日の筆記試験開始前または開始直後に，監督教員が辞書を点検し，使用の可否を判断する。使用を認められた辞書を，筆記試験の時間中（9時～12時30分）に，他の辞書に取り替えることは認めない。
- なお，使用を許可できる辞書には次の条件を科すので，辞書の選択に十分注意すること。
- 日本語の読み書きを補助する辞書に限り，使用を許可する。
 - 辞書の書名が特定の専門分野に対応している辞書及び事典類は，使用を許可しない。
 - 電子辞書は，使用を許可しない。
 - その辞書が，試験内容に対して不公正な情報を与えると試験を行う専攻又はコース（領域）等が判断した場合は，その辞書の使用を許可しない。
- 4 数学（線型代数，微分積分学，群論，集合・位相）及び数学教育の一般的基礎的事項についての素養を確かめる問題。
- 5 美術領域志願者で制作活動をしている場合は，口述試験の際に作品又はその写真資料等を持参すること。

音楽領域学力試験（一般選抜）について

別表1

試験科目・実技		試験時間
基礎科目	音楽科教育	10：15～11：25
専門科目	以下7科目から1つ選択 (1) 音楽科教育学 (2) 音楽学 (3) 作曲 (4) 作曲理論 (5) 器楽A（ピアノ） (6) 器楽B（管楽器） (7) 声楽	(1)(2)(3)(4)試験時間 11：40～12：30 (5)(6)(7) 11：50より試験番号順に行う (試験開始まで練習可能) ※ 科目によって試験時間が 前後する可能性がある
口述試験		13：30～

※英語免除措置者の音楽科教育の試験時間は、10：15～11：00。

試験内容の詳細

試験科目	試験内容	
基礎科目	音楽科教育	音楽教育に関する基礎的・一般的内容
専門科目	(1)音楽科教育学	音楽教育に関する専門的内容
	(2)音楽学	音楽学に関する内容
	(3)作曲	作品の提出と和声（バス課題およびソプラノ課題） ※ P5を参照のこと
	(4)作曲理論	和声（バス課題）および理論に関する内容
	(5)器楽A（ピアノ）	任意の独奏曲（複数曲も可）を暗譜演奏のこと。 試験時間は20分以内とし、途中で打ち切ることもある
	(6)器楽B（管楽器）	任意の管楽器の独奏曲（協奏曲を含む）を暗譜演奏のこと。 試験時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。 伴奏者が必要な曲の場合は、各自同伴すること。 演奏曲のソロパートの楽譜（コピー可）を出願時に提出のこと。
	(7)声楽	任意の独唱曲を暗譜演奏のこと。 試験時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。 伴奏者は各自同伴すること。 演奏曲の楽譜（コピー可）を出願時に提出のこと。

B入試（現職教員等選抜用）

専攻	コース	試験科目		筆記試験	口述試験
		必須科目	選択科目		
教職実践開発	学校管理職 養成	必須科目	教育学, 小論文	学校経営学, 特別支援教育のうちから1科目選択	志望理由, 研究計画, 専門分野に おける経 験, 知識, 適性など について問 う。
	教育実践開発	必須科目	教育学, 小論文 (小論文はB入試のみ)		
心理発達支援	特別支援教育	必須科目	障害児教育概論, 小論文	障害児教育学, 障害児心理学, 障害児病理学のうちから1科目選択	
総合教科教育	芸術身体表現	必須科目	小論文	選択科目	

- (注) 1 選択科目については、志願者が出願書類の入学志願票であらかじめ申告するものとする。
- 2 外国人留学生の場合、筆記試験科目での辞書の持込みを可とする。
ただし、試験当日の筆記試験開始前または開始直後に、監督教員が辞書を点検し、使用の可否を判断する。使用を認められた辞書を、筆記試験の時間中（9時～12時30分）に、他の辞書に取り替えることは認めない。なお、使用を許可できる辞書には次の条件を科すので、辞書の選択に十分注意すること。
- a 日本語の読み書きを補助する辞書に限り、使用を許可する。
 - b 辞書の書名が特定の専門分野に対応している辞書及び事典類は、使用を許可しない。
 - c 電子辞書は、使用を許可しない。
 - d その辞書が、試験内容に対して不公正な情報を与えると試験を行う専攻又はコース（領域）等が判断した場合は、その辞書の使用を許可しない。

音楽領域学力試験（英語免除措置者、現職教員等選抜）について

別表 2

試験科目・実技		試験時間
基礎科目	音楽科教育	10：15～11：00
専門科目	以下7科目から1つ選択 (1) 音楽科教育学 (2) 音楽学 (3) 作曲 (4) 作曲理論 (5) 器楽A（ピアノ） (6) 器楽B（管楽器） (7) 声楽	(1)(2)(3)(4) 試験時間 11：40～12：30 (5)(6)(7) 11：50より試験番号順に行う (試験開始まで練習可能) ※科目によって試験時間が前後する可能性がある
口述試験		13：30～

試験内容の詳細

試験科目	試験内容	
基礎科目	音楽科教育	音楽教育に関する基礎的・一般的内容
専門科目	(1) 音楽科教育学	音楽教育に関する専門的内容
	(2) 音楽学	音楽学に関する内容
	(3) 作曲	作品の提出と和声（バス課題およびソプラノ課題） ※P5を参照のこと
	(4) 作曲理論	和声（バス課題）および理論に関する内容
	(5) 器楽A（ピアノ）	任意の独奏曲（複数曲も可）を暗譜演奏のこと。 試験時間は20分以内とし、途中で打ち切ることもある
	(6) 器楽B（管楽器）	任意の管楽器の独奏曲（協奏曲を含む）を暗譜演奏のこと。 試験時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。 伴奏者が必要な曲の場合は、各自同伴すること。 演奏曲のソロパートの楽譜（コピー可）を出願時に提出のこと。
	(7) 声楽	任意の独唱曲を暗譜演奏のこと。 試験時間は10分以内とし、途中で打ち切ることもある。 伴奏者は各自同伴すること。 演奏曲の楽譜（コピー可）を出願時に提出のこと。

C入試（派遣・推薦教員選抜用）

専攻	コース	領域	試験科目	
			筆記試験	口述試験
教職実践開発	学校管理職養成	-	必須科目 小論文	志望理由，研究計画，専門分野における経験，知識，適性などについて問う。
	教育実践開発			

(3) B入試（現職教員等選抜）及びC入試（派遣・推薦教員選抜）について

B入試（現職教員等選抜）又はC入試（派遣・推薦教員選抜）を希望する者は、「教育実践論文・研究業績等報告書」に記載した教育実績論文・記録又は各専門分野に関わる論文・研究報告等の主要なもの（原本又は写し）5点以内を提出すること。

提出の対象となるものは次のとおりとする。

- ① 研究報告（地区研究会，県・文部科学省等の指定研究発表会，小・中・高の教科等研究会での研究報告）
- ② 著書，論文（学会誌，研究機関等の研究紀要，その他雑誌等に掲載された論文）
- ③ 翻訳，辞書，事典類の項目執筆
- ④ その他教育実践又は研究の成果を示す記録，資料等

6 配 点

(1)A入試（一般選抜）

専攻	コース	試 験 科 目				口述試験	計
		筆 記 試 験 等					
		必 須 科 目		選 択 科 目	教育実践論文等		
専 門	英 語	小論文					
教職実践開発	教育実践開発	100	100	—	100	100	400
心理発達支援	臨床心理学	200	100	—	—	100	400
	特別支援教育	100	100	—	100	100	400
		必 須 科 目		選 択 科 目			
		英 語	小論文	基礎科目	専門科目		
総合教科教育	言語社会	—	100	125 (内英語 50)	75	100	400
	サイエンス	—	100	125 (内英語 50)	75	100	400
	芸術身体表現	—	100	100 (内英語 50)	100	100	400
	カリキュラム開発	50	100	150	—	100	400

(注) 外国人留学生においては、英語に代えて日本語の試験を行う。

(2)B入試（現職教員等選抜）

専攻	コース	試 験 科 目				口述試験	計
		筆 記 試 験 等					
		必 須 科 目		選 択 科 目	教育実践論文等		
専 門	小論文						
教職実践開発	学校管理職養成	100	100	100	—	100	400
	教育実践開発	100	100	100	—	100	400
心理発達支援	特別支援教育	100	50	100	50	100	400
		必 須 科 目					
		小 論 文					
総合教科教育	芸術身体表現	100		150	50	100	400

(3)C入試（派遣・推薦教員選抜）

専攻	コース	試 験 科 目				口述試験	計
		筆 記 試 験 等					
		必 須 科 目		選 択 科 目	教育実践論文等		
専 門	小論文						
教職実践開発	学校管理職養成	—	100	—	200	100	400
	教育実践開発	—	100	—	200	100	400

7 入学者選抜試験の合否判定における欠格基準

6に示してある「配点」表について、各試験科目の得点が、1科目でも満点の30パーセント未満の受験者は、不合格とする。

8 合格者発表

- (1) 日 時 令和4年3月1日（火）正午
- (2) 発表方法 岐阜大学ホームページ上（<https://www.gifu-u.ac.jp>）に合格者の受験番号を掲載する。掲載期間は合格発表日から1週間とする。
合格通知書は郵送します。
なお、不合格者には結果通知を郵送しません。また、電話等による照会には一切応じません。

9 入学手続

令和4年3月15日（火）

この日までに入学手続をしなかった者は、本研究科への入学の意思がなく、入学を辞退したものとみなす。

10 入学料及び授業料（令和3年度入学生の例）

入 学 料 : 282,000円

授業料（前期分） : 267,900円（年額535,800円）

（注）授業料納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができる。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

11 入試結果の情報開示の案内

(1) 開示内容

受験者本人からの請求に基づき、本人の得点（合否判定に使用した合計点）を開示します。また、合格者の試験成績（最高点、平均点、最低点）を併せて開示します。ただし、小論文、口述試験は開示しません。コースごとの合格者が4人以下の場合は試験成績の公表はしません。また、合格者が10人以下の場合は、最低点の公表はしません。

(2) 開示の請求方法

- a 請求できるもの 本人に限ります。
- b 請求期間 令和4年4月28日（木）から5月27日（金）
（請求用紙の配布も同日以降とします。）
- c 請求方法 請求先（入試課）の窓口を持ち込むか郵送してください。
- d 請求先 〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学学務部入試課
- e 必要書類
・岐阜大学入試情報開示請求書
・岐阜大学受験票（コピー不可、開示の際にお返しします。）
・返信用封筒（開示通知書送付用）
長形3号封筒に、本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、404円分の切手（簡易書留料金）を貼付してください。
開示請求書用紙の入手
・次のいずれかの方法で入手できます。
①入試課の窓口で受け取る。（9時から17時まで）
②郵便で請求する。
返信用封筒（長形3号の封筒に84円切手貼付）を「請求先」あてに送ってください。
- f 開示方法 本人に開示決定通知書を郵送します。
請求受付後、開示までに約1か月を要しますので、あらかじめ了承願います。

12 個人情報の取り扱いについて

提出された志願票等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、入試情報処理システムに登録されますが、本学は、志願票等及び登録された個人情報を、責任をもって管理・保管します。

そして入学試験業務終了後は、この個人情報を、次のいずれかに該当する場合を除いて利用することはなく、また、第三者に開示することはありません。なお、第三者とは、本学入試業務担当者のうち、個人情報に接する必要がある者以外の者とします。

- (1) 合格者について、入学手続きに必要なデータを使用する場合
- (2) 入学者について、学生証の作成、カリキュラム登録、成績管理等、本人が大学生活を送る上で必要な事務処理にデータを利用する場合
- (3) 入学者選抜に係る統計・調査・分析のために使用する場合（ただし、この統計・調査・分析に従事する者は特定の者とし、公表する場合は個人識別ができない状態で行います。）
- (4) 本人の同意が得られた場合
- (5) 法令等により開示が求められた場合

13 障害等のある者の出願に当たっての事前相談

本学では、障害等のある志願者が、受験上不利となることがないように必要な配慮を行っており、そのための相談を次のとおり受け付けています。

相談の内容によっては対応に時間を要することがありますので、相談の期限にかかわらず、できるだけ早く相談してください。

また、入学後の修学相談の希望がある方は、お問い合わせください。

(1) 相談の期限

令和3年12月8日（水）まで

注：日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定や他の配慮との関係から事前相談が必要です。

なお、この事前相談は、障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験に関し、よりよい方法及び在り方を模索するためのものであり、本相談により入試結果の判定において不利になることはありません。

(2) 相談の方法

本学所定の用紙（障害者等受験上の配慮申請書）に医師の診断書及び身体障害者手帳（写し・該当者のみ）を添付し、教育学部学務係に提出してください。

また、本学が必要とする場合には、志願者又は関係者との面談等を行うことがあります。

(3) 本学所定の用紙の請求方法

郵便で障害者等受験・修学上の配慮申請書の用紙を請求する場合は、封筒の表に「障害者等受験・修学上の配慮申請書請求」と朱書きし、84円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号封筒（縦23.5cm × 横12.0cm））を同封し、教育学部学務係に送付してください。

なお、用紙は、岐阜大学ホームページからダウンロードすることもできます。

(4) 相談の期限後に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限後に不慮の事故等により身体に障害を有することとなった場合は、至急教育学部学務係へお問い合わせください。

14 夜間・遠隔教育における教育方法の特例措置について

現職教員等に対して、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例及び同設置基準第15条（大学設置基準第25条等準用）に定める授業の方法の趣旨に基づき、現職教員等が大学院教育を受ける機会を広げるため、教育方法の特例を実施する。

以下の「カリキュラム開発コース」「教育実践開発コース」の遠隔教育の詳細については、令和4年度の研究科改組に伴い、変更となる可能性があります。

各専攻・コース等の開講と遠隔教育の方法は次のとおりである。

専攻	コース	昼	夜
教職実践開発	学校管理職養成	○	—
	教育実践開発	○	○
心理発達支援	臨床心理学	○	—
	学校心理学	○	—
	特別支援教育	○	○
総合教科教育	言語社会	○	—
	サイエンス	○	—
	芸術身体表現	○	—
	カリキュラム開発	—	○

注) 遠隔教育は、下記のコースにおいて実施する。受講場所は下表参照。

- ・カリキュラム開発コース
- ・教育実践開発コース（希望者）

遠隔教育	開講授業	受講できる教室等
サテライトまたはインターネット型のいずれかを選択	夜間	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学教室 ・サテライト教室：熊本市 ・インターネット接続の自宅等：インターネット接続された機器等を備えた自宅等

注) 教育実践開発コースは、インターネット型のみで授業を行っており、インターネット接続の自宅等における受講のみを実施する。

(1) 開講形態及び時間

① 夜間授業の開講

第6時限

第7時限

18：10～19：40 (夜間第1時限)	19：50～21：20 (夜間第2時限)
-------------------------	-------------------------

夜間授業が主となる現職教員等に対しては、岐阜大学、サテライト教室及びインターネット接続の自宅等において受講することができる。

② 昼間授業の開講

第1時限

第2時限

第3時限

第4時限

第5時限

8：45～10：15	10：30～12：00	13：00～14：30	14：45～16：15	16：30～18：00
------------	-------------	-------------	-------------	-------------

勤務の都合で昼間授業を受講することもできるが、岐阜大学においてのみの開講である。

③ 土・日曜日及び夏季休業等開講

一部の授業科目を土・日曜日，夏季休業中に遠隔授業で開講する。また，大学へ通学可能な夏季休業時等は，大学へ行き受講することもできる。

(2) 遠隔教育の方法

岐阜大学とサテライト教室及びインターネット接続された機器等を備えた自宅等とをテレビ会議システムやインターネット等による双方向通信で授業を行う。

15 長期履修学生制度について

大学院設置基準の一部改正（平成14年3月28日施行）により，学生が職業を有しているなどの事情により，研究科の標準修業年限の2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨申し出た時は，その計画的な履修を認めることができることになり，本学でもこの制度を導入している。

なお，前述の履修方法が認められた学生の授業料の年額は，2年間分の授業料を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で除した額となる。

16 修業年限短縮の特例について

岐阜大学大学院学則の規定に基づき，所定の単位を修得し，学位を授与されるための研究計画等において特に優れた業績が認められる者の修業年限は，標準修業年限2年のところ，1年又は1年6月に短縮することができる。（教職実践開発専攻を除く）

17 大学院生の学部開講科目の受講について

大学院学生は申合せに基づく承認を得て，学部講義等を受講することができる。

18 入 試 統 計

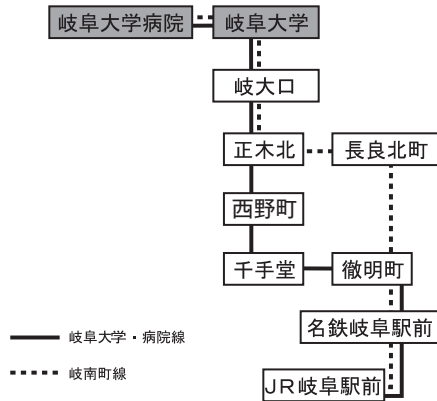
専攻	コース領域	平成31年度一次募集												平成31年度二次募集												入学 者数 合計						
		募集 人数	A入試				B入試				C入試				募集 人数	A入試				B入試				C入試								
			志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数		志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学 者数									
教職実践開発	学校管理職 養成	約10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	約15	-	-	-	-	0	0	0	0	15	15	15	15	15
	教育実践開発	10	12	11	11	7	3	3	3	3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	
心理発達支援	臨床心理学	10	27	22	13	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
	学校心理学 特別支援教育	10	3	1	1	1	0	0	0	0	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	-	-	-	-	1	
総合教科教育	国語	34	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	社会	34	5	5	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	英語	34	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	数学	34	6	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	理科	34	9	9	8	6	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
	技術	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	家政	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	音楽	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	美術	34	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	保健体育 カリキュラム 開発	34	7	7	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
合 計		54	80	71	60	48	6	6	6	6	2	2	2	2	15	1	1	1	1	3	3	3	3	15	15	15	15	75				

(4) 本学への交通機関（令和3年11月現在）

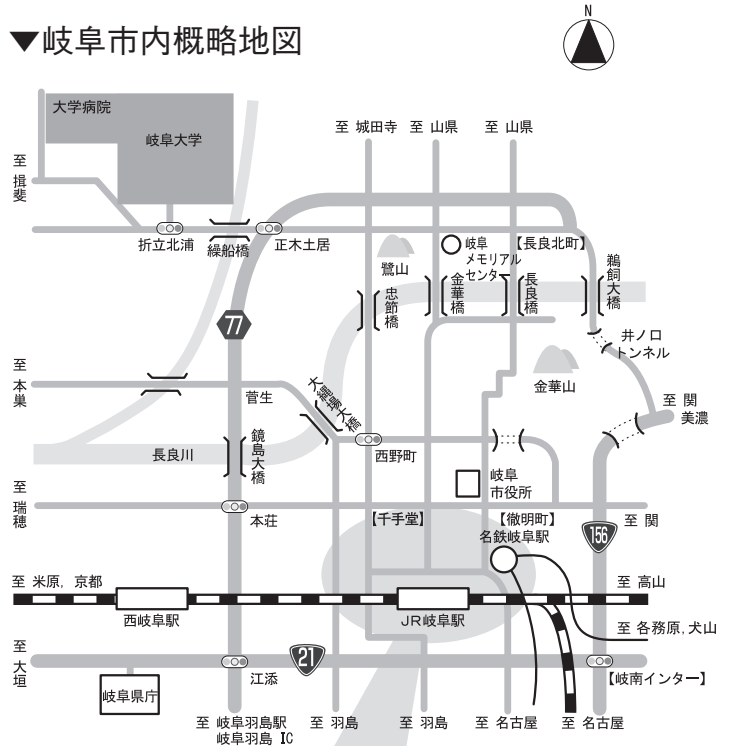
行先	路線名	JR岐阜駅 から	名鉄岐阜駅 から
岐阜大学	岐阜大学・病院線	JR岐阜駅前（北口）	名鉄岐阜バスターミナルE番乗り場
岐阜大学病院		バスターミナル9番乗り場	名鉄岐阜駅前（北進）4, 5番乗り場

1. 主な路線のみ掲載しています。その他の路線については岐阜バスのホームページ等で確認してください。
2. 所要時間は約30分ですが、市内の交通事情により大幅にこれを上回ることがあるので注意してください。

▼バス路線図(略図)



▼岐阜市内概略地図



▼JR岐阜駅前・名鉄岐阜駅前周辺バスのりば

